

2015年3月期 中間決算説明会

大太平洋金属株式会社

2014年11月18日

お問い合わせ先 : 総務部 (IR担当)
TEL : 03-3201-6681

ホームページURL
<http://www.pacific-metals.co.jp>

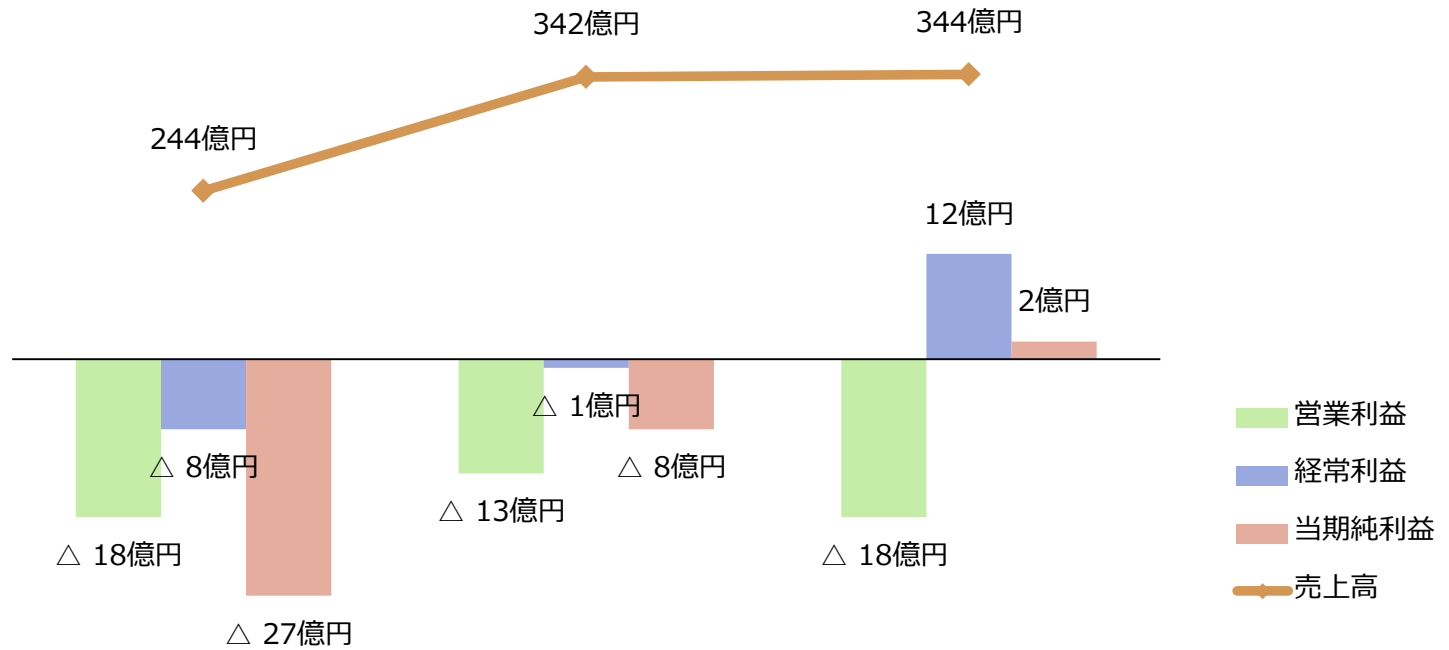
もくじ

I	15.3期 中間決算	
	1. 概要	3
	2. ニッケル事業	4
	3. 連結経常損益の分析〔13.9実績対14.9実績〕	5
II	ニッケル需給について	
	1. LMEニッケル価格（CASH）とLMEニッケル在庫数量推移	7
	2. 世界のステンレス生産とニッケル需給	8
	3. 地域別ステンレス・ニッケル需給見通し	9
	4. 中国NPI生産の動向	10
III	15.3期 通期見通し	
	1. 概要	12
	2. ニッケル事業見通し	13
	3. 国別販売見通し〔14.3実績対15.3予想（新）〕	14
	4. 国別販売先の動向	15
	5. 連結経常損益の分析〔14.3実績対15.3予想（新）〕	16
	6. 投資計画（単年ベース）	17
IV	経営課題への取り組み	
	1. ニッケル鉱石調達に関する課題	19
	2. 対応について	20
	3. 鉱石調達割合および調達契約概要	21
	4. ウェダベイニッケルプロジェクトの進捗	22

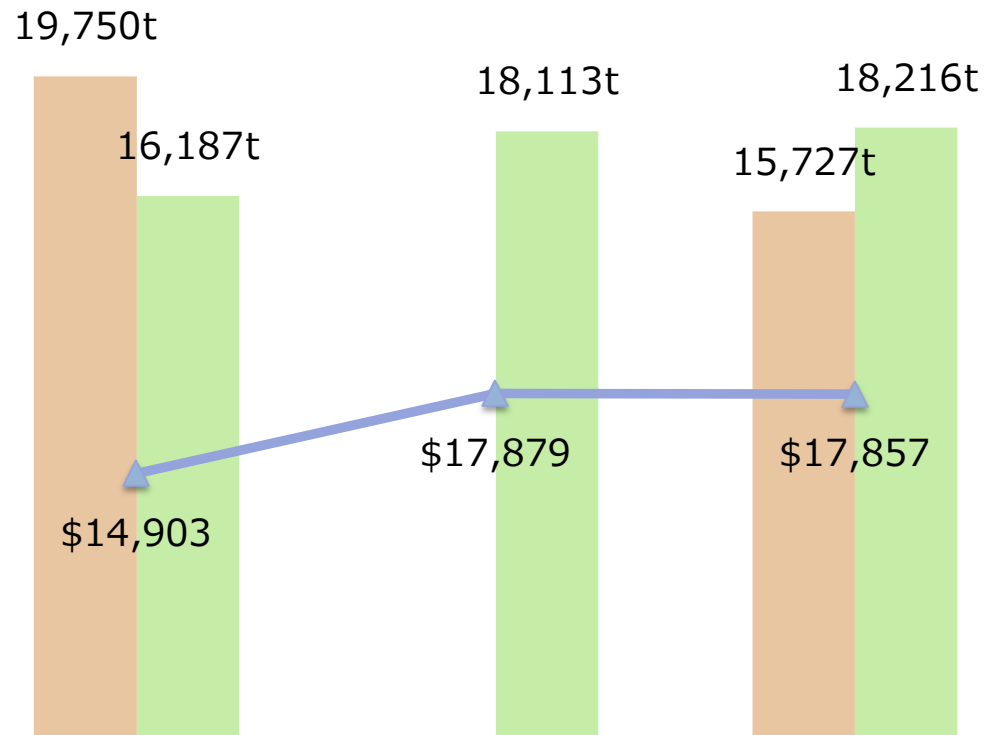
I 15.3期 中間決算

15.3期 中間決算

1.概要



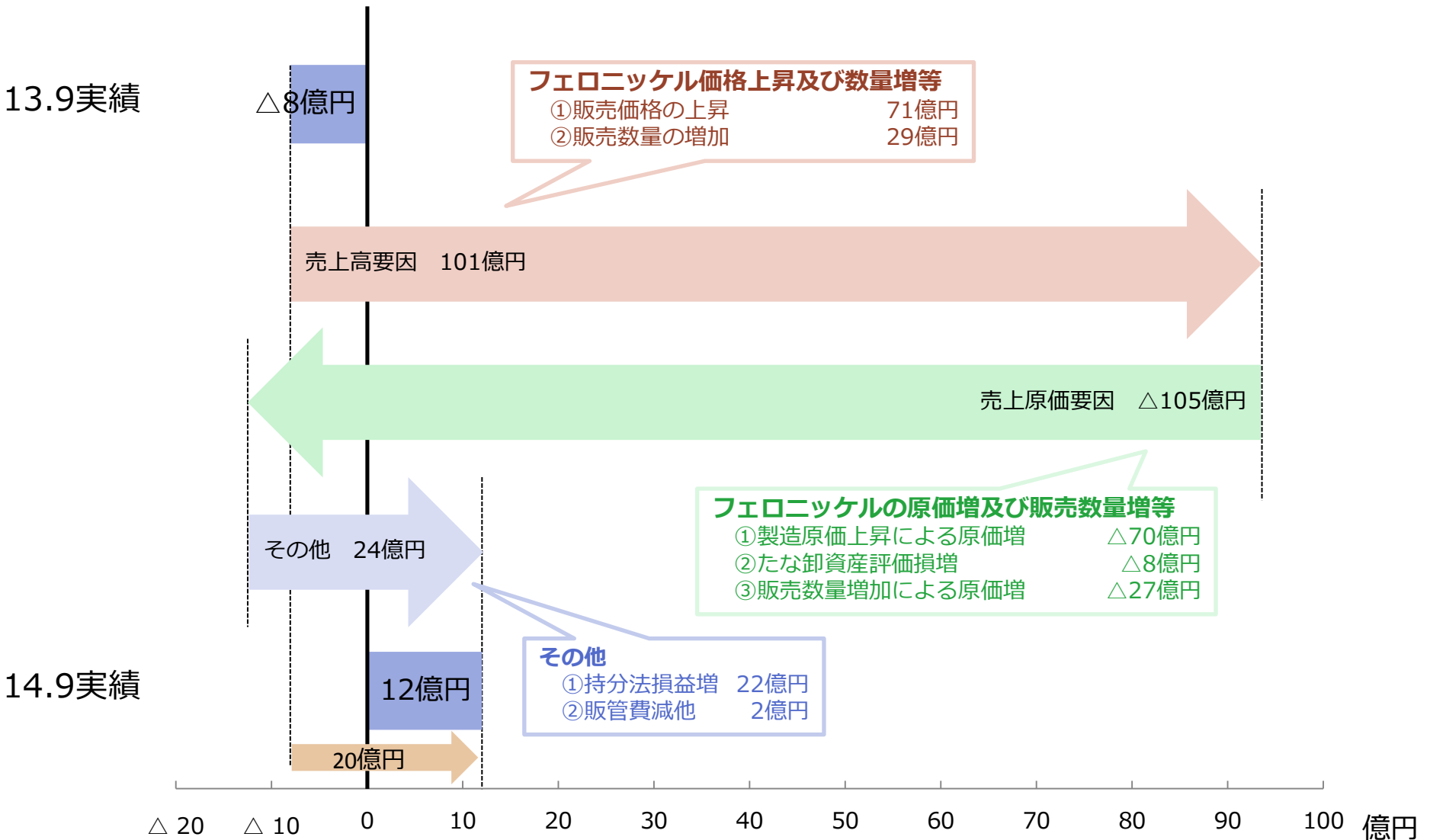
単位 百万円	13.9実績		14.9予想 (8/5発表)		14.9実績		対 前期同期比 (%)	対8/5発表 予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	24,427	-	34,283	-	34,483	-	41.2	0.6
営業利益	△1,831	△7.5	△1,383	△4.0	△1,861	△5.3	-	-
経常利益	△800	△3.3	△175	△0.5	1,201	3.5	-	-
当期純利益	△2,720	△11.1	△830	△2.4	224	0.7	-	-
(投資額)	854	-	-	-	969	-	13.5	-
(減価償却費)	3,588	-	-	-	3,449	-	△3.9	-



■ 生産数量
■ 販売数量
→ 適用LMEニッケル価格

	13.9実績	14.9予想 (8/5発表)	14.9実績	対前年同期比 (%)	対8/5発表予想比 (%)
生産数量(Niト)	19,750	—	15,727	△20.4	—
販売数量(Niト)	16,187	18,113	18,216	12.5	0.6
適用LME (\$/ト)	14,903	17,879	17,857	19.9	△0.1
【適用LME(\$/lb)】	【6.76】	【8.11】	【8.10】		
適用為替 (¥/\$)	97.64	101.67	102.30	4.8	0.6

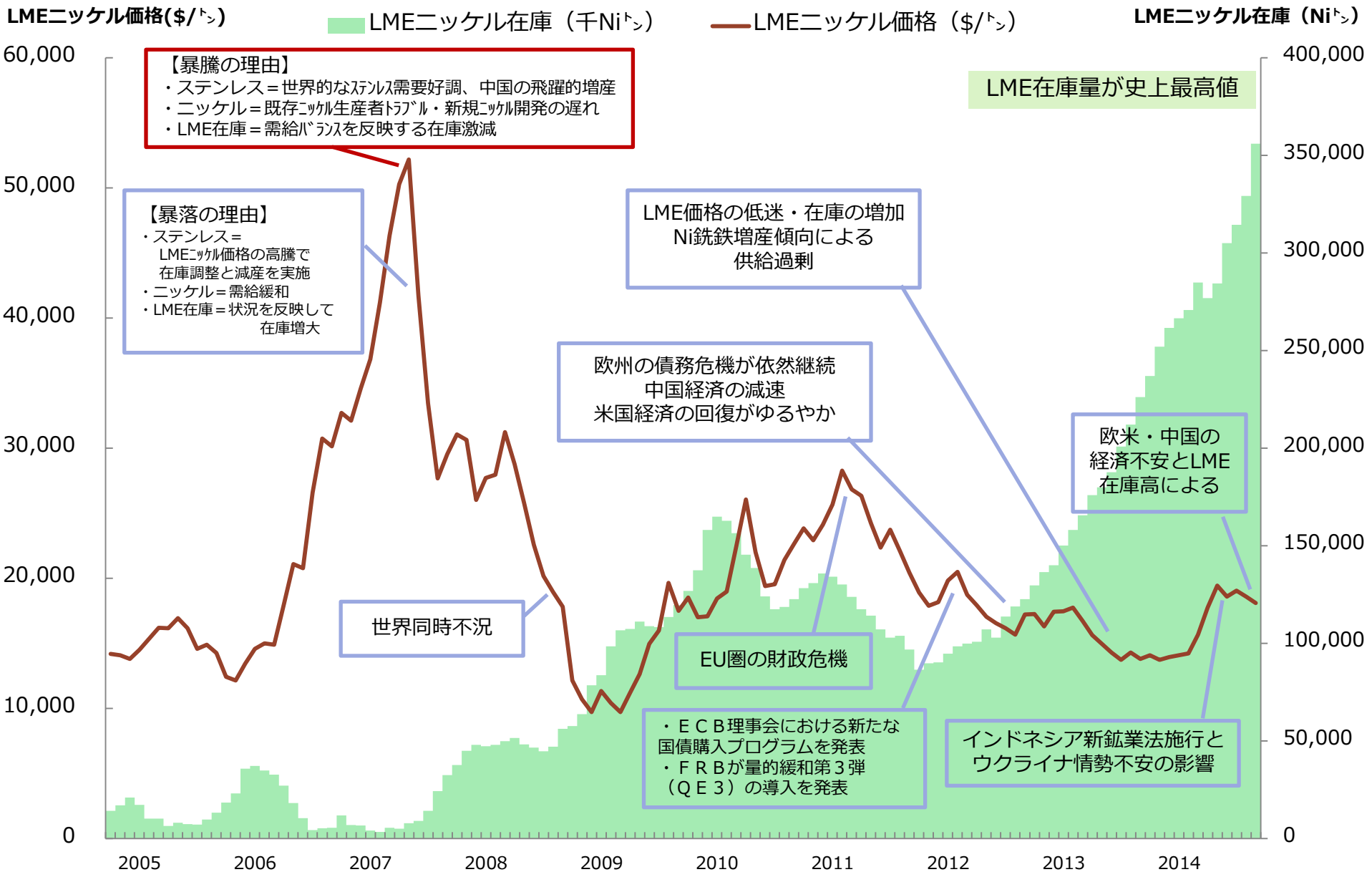
3. 連結経常損益の分析〔13.9実績対14.9実績〕



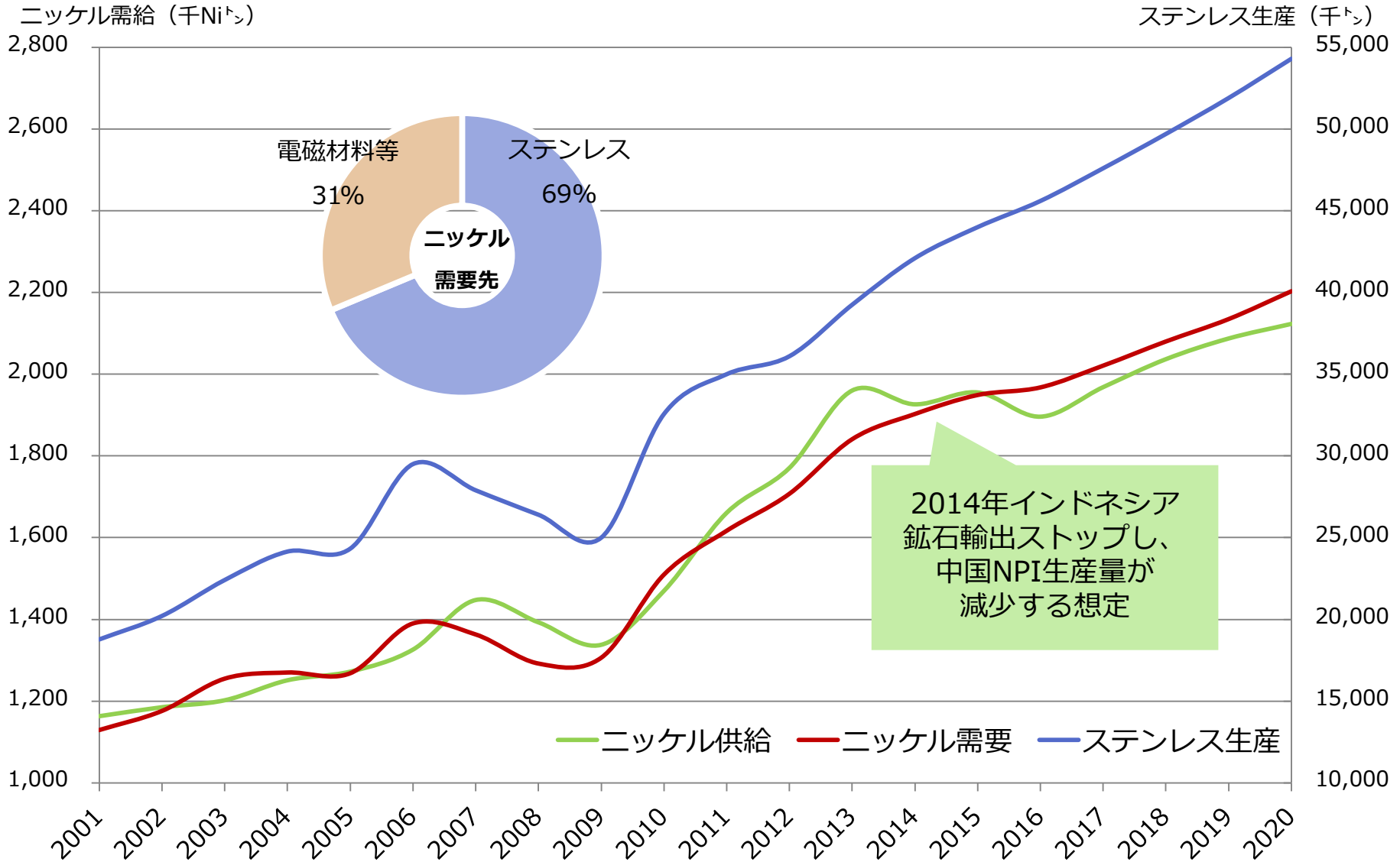
Ⅱ ニッケル需給について

ニッケル需給について

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(2004年~2014年)

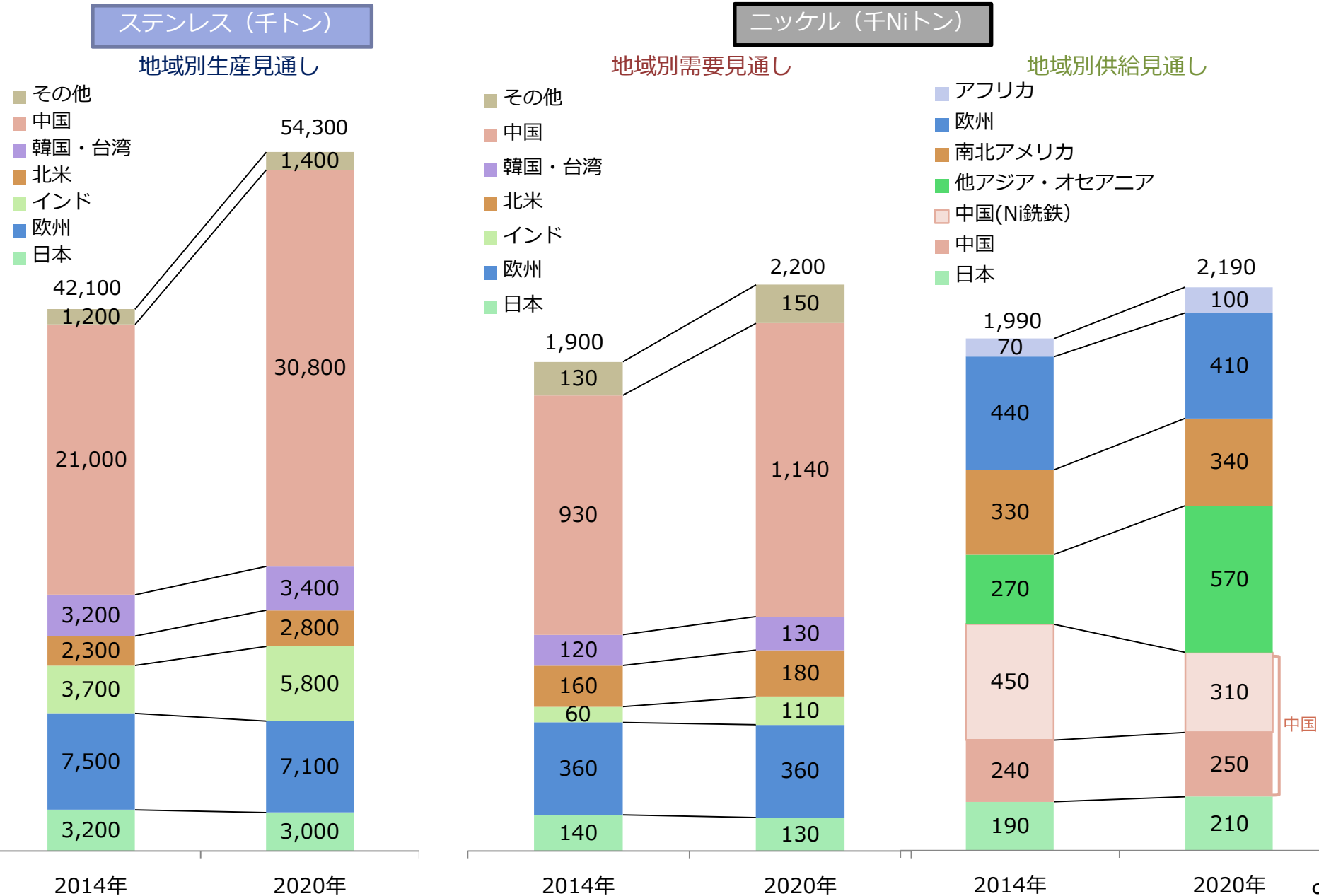


2. 世界のステンレス生産とニッケル需給

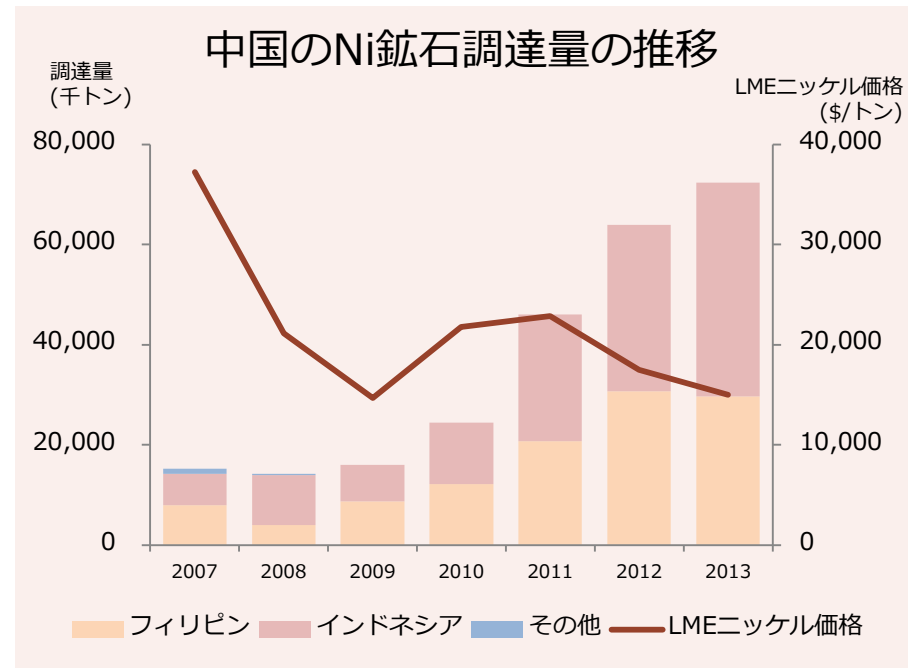
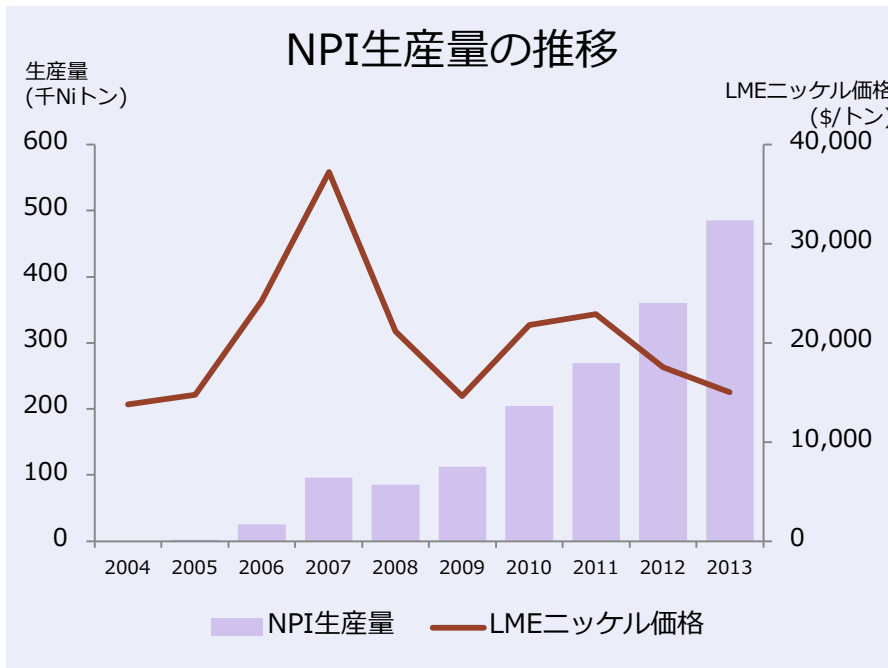


ニッケル需給について

3. 地域別ステンレス・ニッケル需給見通し



4. 中国NPI生産の動向



NPIメーカーの動向

- ・ LMEニッケル価格の上昇により、安価なニッケル源としてNPIが注目
- ・ 生産急拡大、鉱石調達量増により鉱石価格も高騰
- ・ インドネシア新鉱業法施行により、資源確保がフィリピンへ集中
- ・ 中国向け鉱石価格はさらに暴騰、生産コストも上昇
- ・ 販売価格低迷、鉱石値上がり分を転嫁できず採算悪化 → 減産も

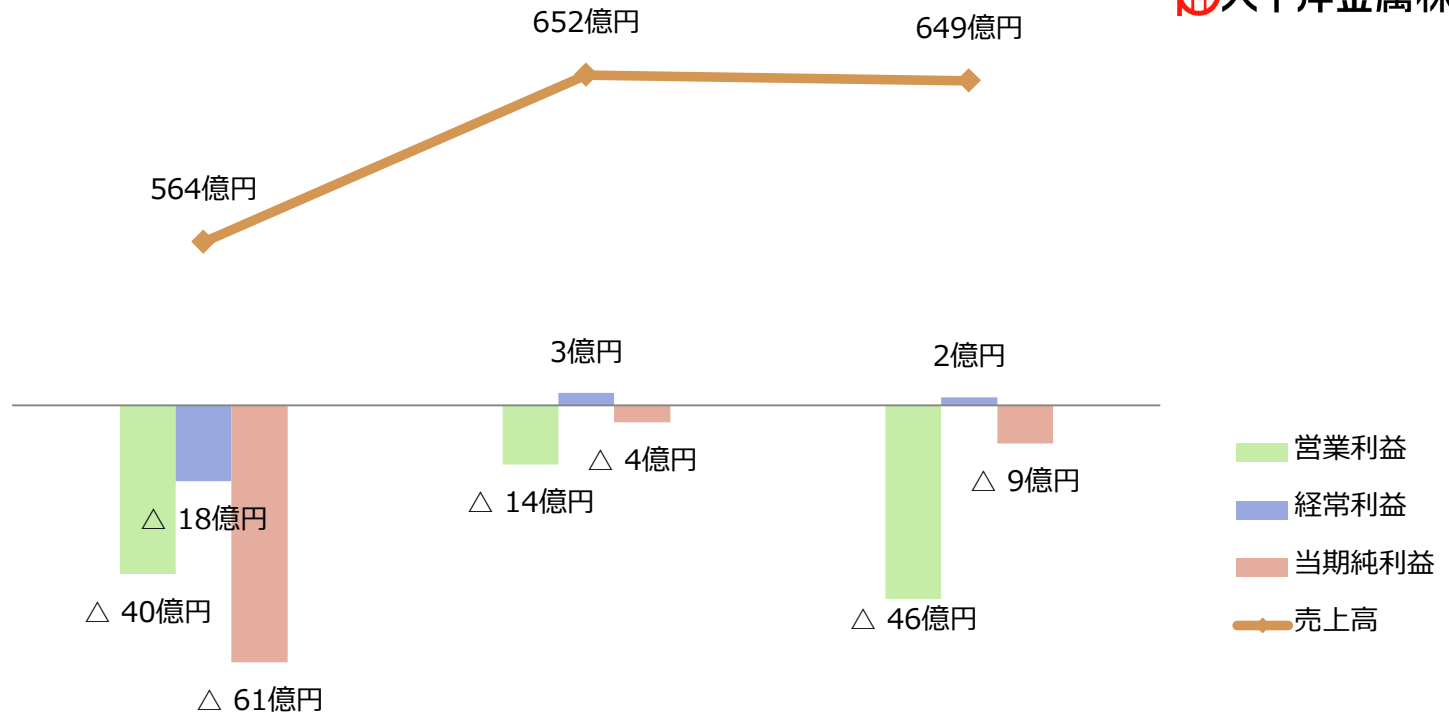
当社への影響

- ・ フェロニッケル販売への影響
- ・ 鉱石調達コストの上昇
- ・ 製造コストの上昇

Ⅲ 15.3期 通期見通し

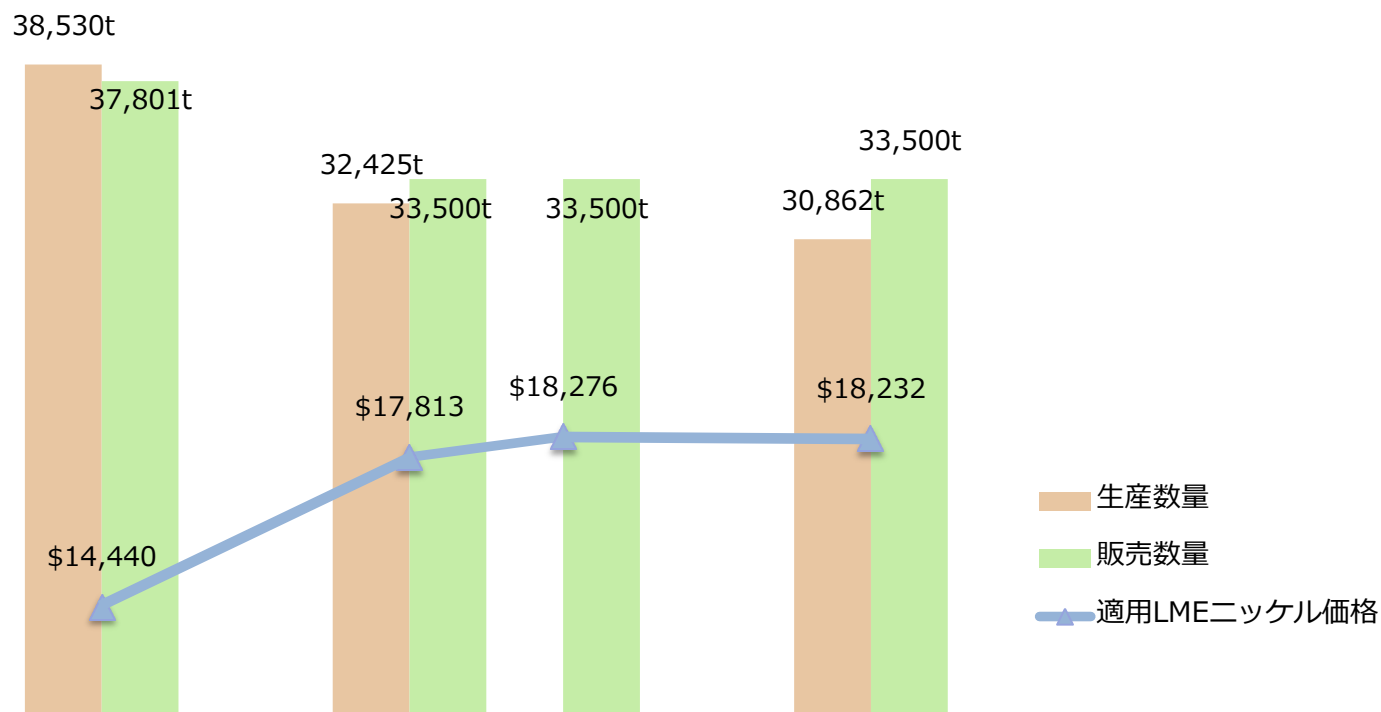
15.3期 通期見通し

1.概要



単位 百万円	14.3実績		15.3予想 (8/5発表)		15.3予想 (新)		対前期比 (%)	対8/5 発表予想比 (%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	56,408	—	65,231	—	64,986	—	15.2	△0.4
営業利益	△4,080	△7.2	△1,437	△2.2	△4,659	△7.2	—	—
経常利益	△1,839	△3.3	392	0.6	287	0.4	—	△26.8
当期純利益	△6,150	△10.9	△415	△0.6	△984	△1.5	—	—
(投資額)	1,326	—	—	—	6,809	—	413.5	—
(減価償却費)	7,249	—	—	—	6,263	—	△13.6	—

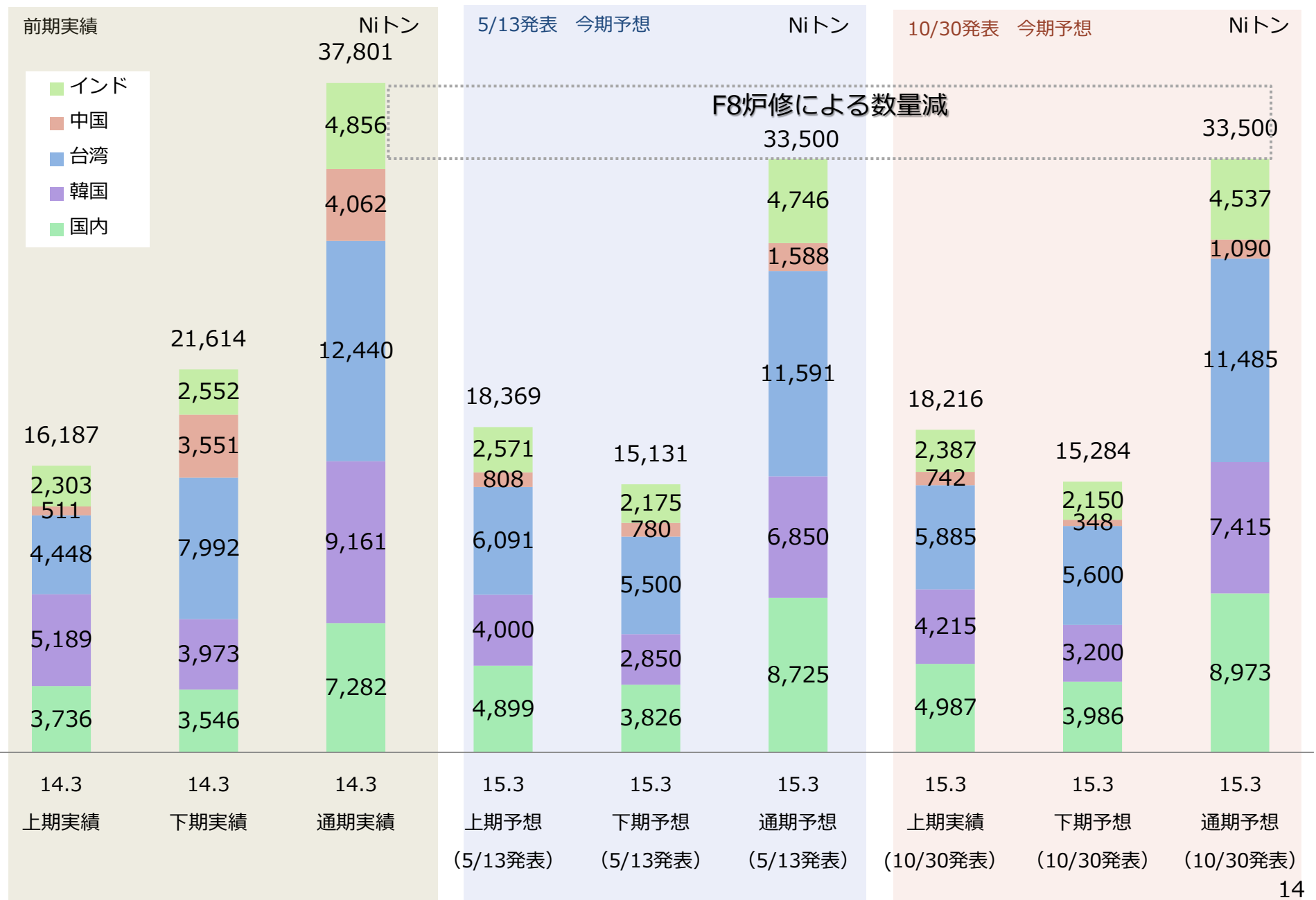
2. ニッケル事業見通し



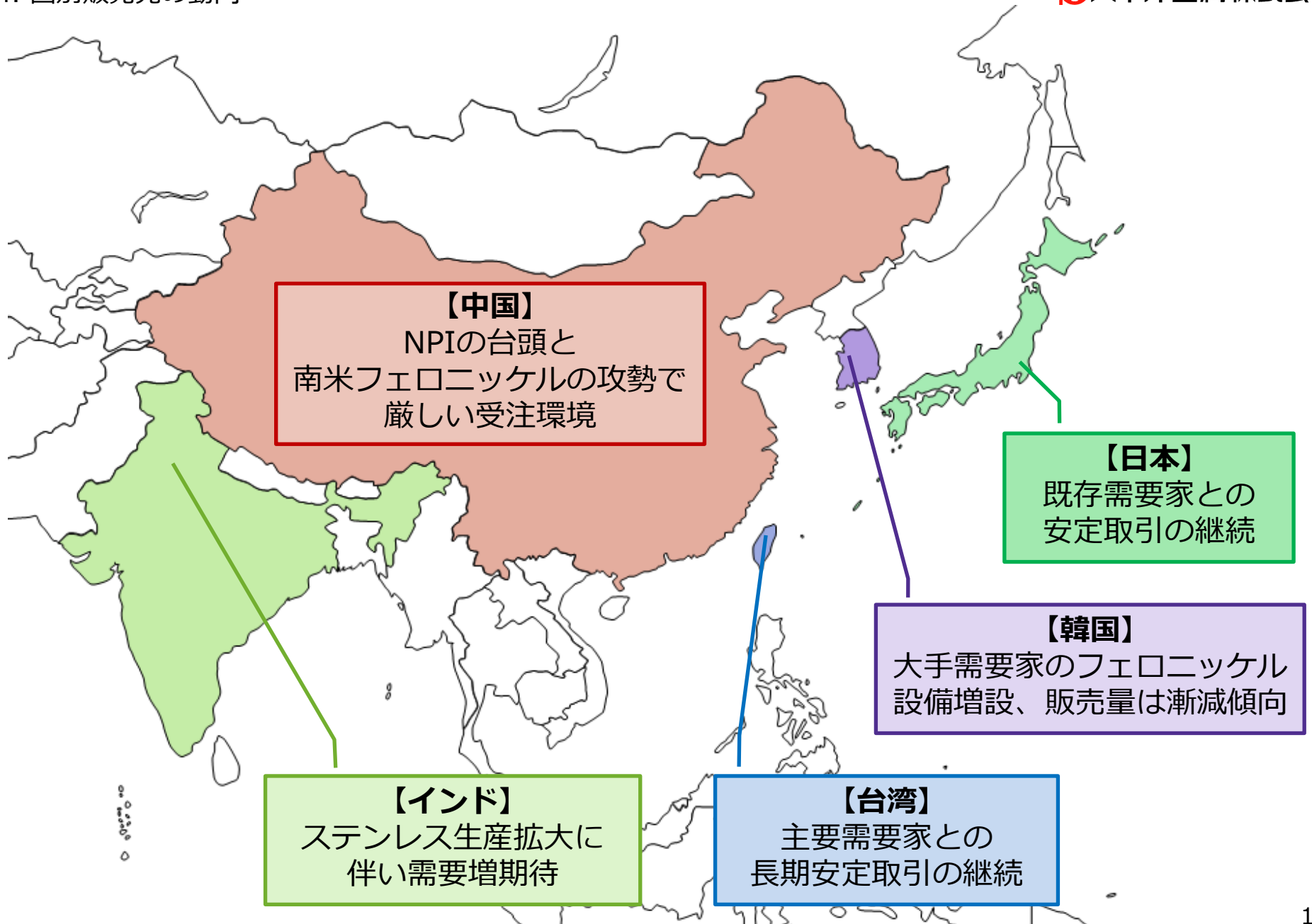
	14.3実績			15.3予想 (5/13発表)	15.3予想 (8/5発表)	15.3予想 (新)			対前期比 (%)	対8/5発表 予想比 (%)
	上期	下期	通期			上期	下期	通期		
生産数量(Niト)	19,750	18,780	38,530	32,425	—	15,727	15,135	30,862	△19.9	—
販売数量(Niト)	16,187	21,614	37,801	33,500	33,500	18,216	15,284	33,500	△11.4	0.0
適用LME (\$/ト)	14,903	14,088	14,440	17,813	18,276	17,857	18,695	18,232	26.3	△0.2
【適用LME(\$/lb)】	【6.76】	【6.39】	【6.55】	【8.08】	【8.29】	【8.10】	【8.48】	【8.27】		
適用為替 (¥/\$)	97.64	100.77	99.43	101.56	101.60	102.30	101.78	102.06	2.6	0.5

15.3期 通期見通し

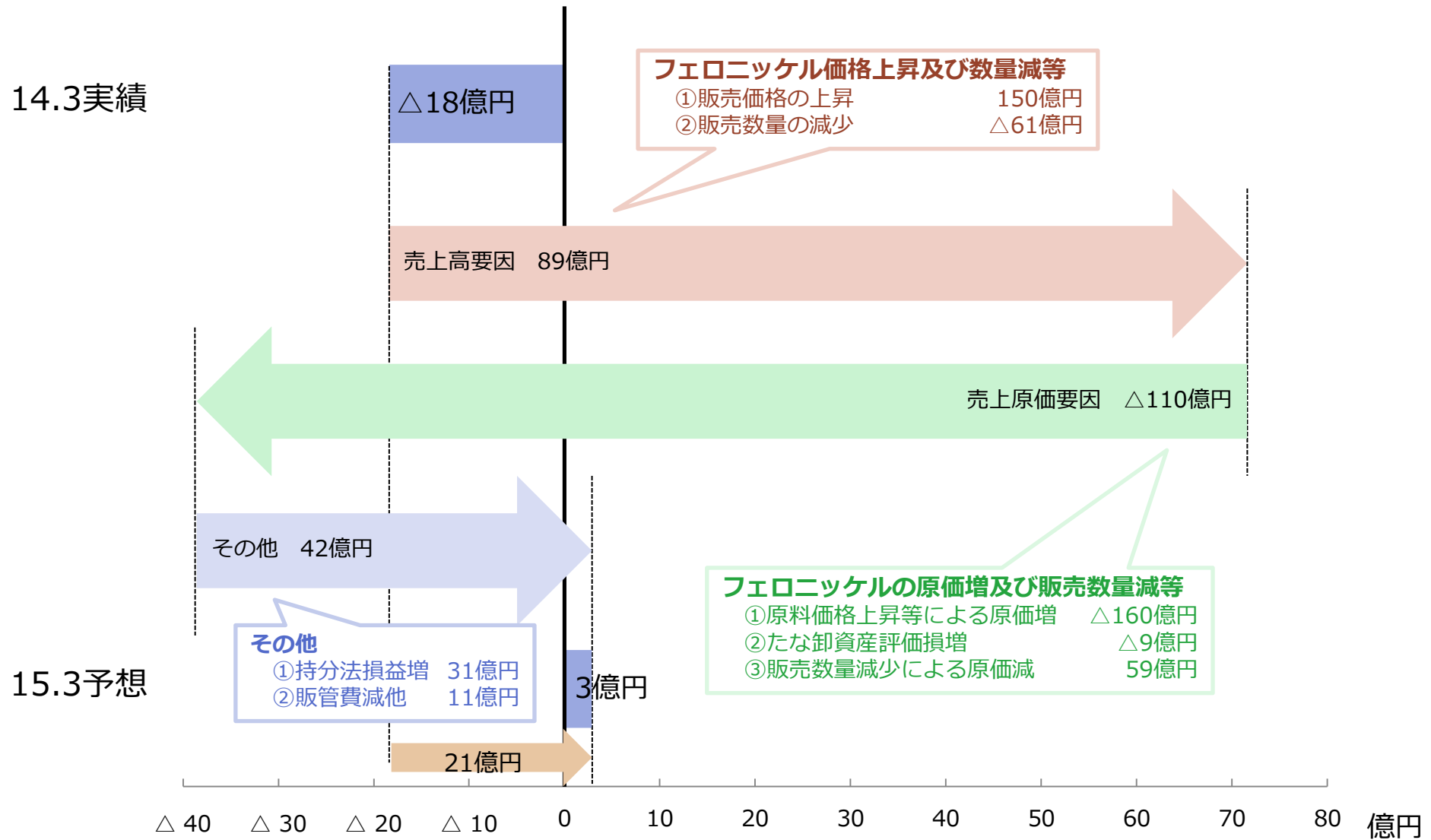
3. 国別販売見通し〔14.3実績対15.3予想（新）〕



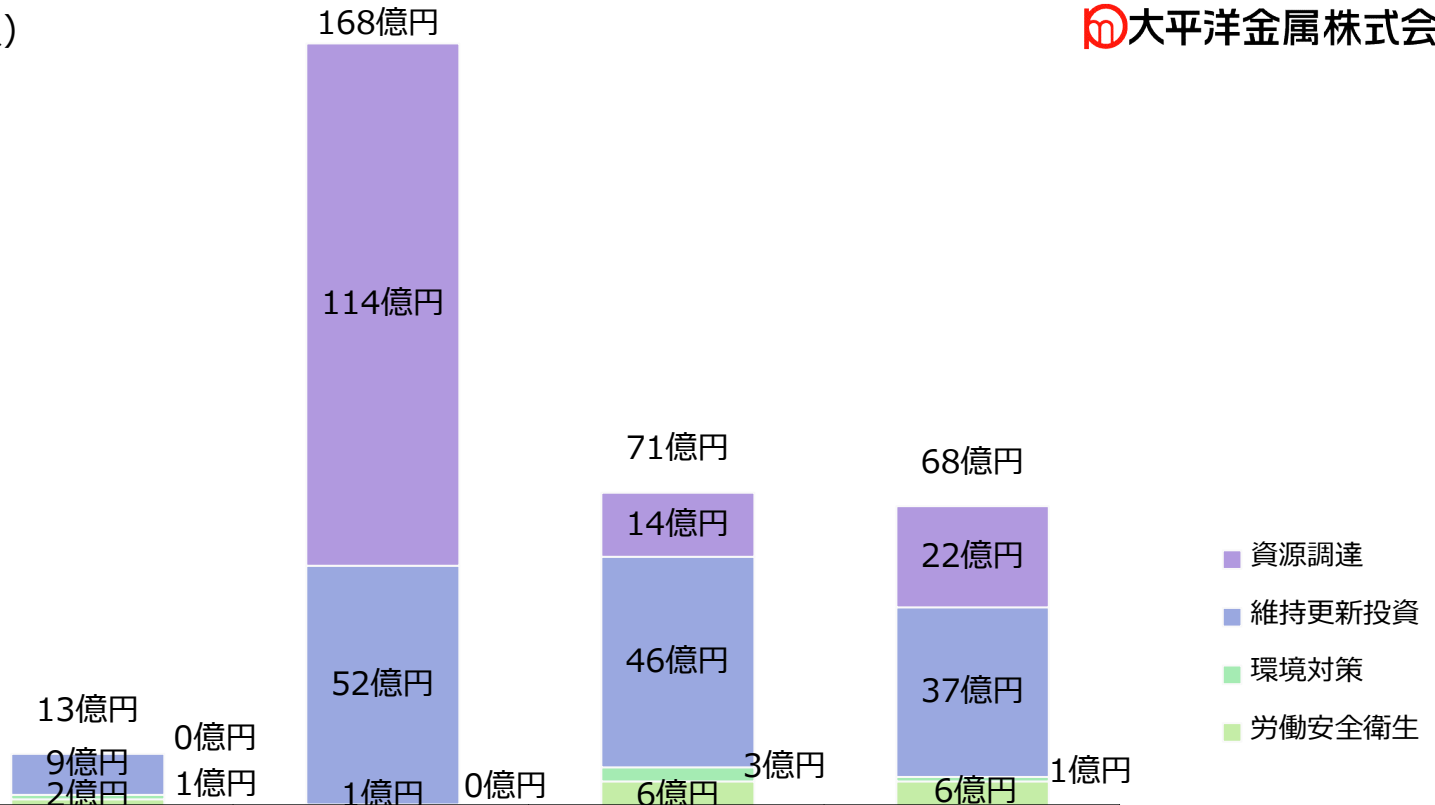
4. 国別販売先の動向



5. 連結経常損益の分析〔14.3実績対15.3予想（新）〕



6. 投資計画（単年ベース）



単位 百万円	14.3期実績	PAMCO-27 15.3期予想	15.3期予想	15.3期上期実績と 下期予想（新）	15.3期予想と 新規予想の差異
資源調達	11	11,410	1,430	2,287	857
維持更新投資	972	5,252	4,668	3,789	△879
環境対策	130	6	370	104	△266
労働安全衛生	213	133	639	631	△8
合計 (工事ベース)	1,326	16,800	7,107	6,810	△297
減価償却費	7,249	6,762	6,286	6,263	△23



IV 経営課題への取り組み

1. ニッケル鉱石調達に関する課題

① 調達

- ・ インドネシア
2014年1月 新鉱業法施行、未加工品輸出禁止
→インドネシアからの調達数量はゼロに
- ・ フィリピン
2014年9月 インドネシア新鉱業法に追随した「禁輸法案」が提出
→未加工鉱石は輸出前に加工を義務化
→国民所得向上・投資拡大・雇用創出に繋がるとされている
→ただし、最優先法案ではないとされており、成立時期等極めて不透明

② 価格

- ・ アジアにおけるニッケル鉱石調達は、フィリピン・ニューカレドニアに集中
→調達価格は暴騰

③ 品位低下

- ・ ニッケル鉱石の品位低下は世界的に進行
- ・ 調達地域にも限りあり

**当社主原料であるニッケル鉱石を
取り巻く環境は大きく変化**

2.対応について

① 調達

- ・ 鉱石調達は、フィリピン・ニューカレドニアに依存
- ・ 調達数量は不足なく対応
- ・ フィリピンの禁輸法案に係る動向については情報収集の段階
- ・ 今後も長期契約を視野に安定調達へ

鉱石調達割合および調達契約概要
(21ページ)

② 価格

- ・ 世界最大の金属消費国である中国との競合は避けられない状況
- ・ 鉱石価格のステージ変化

他のコストも含めた
「トータルコスト」の圧縮を検討

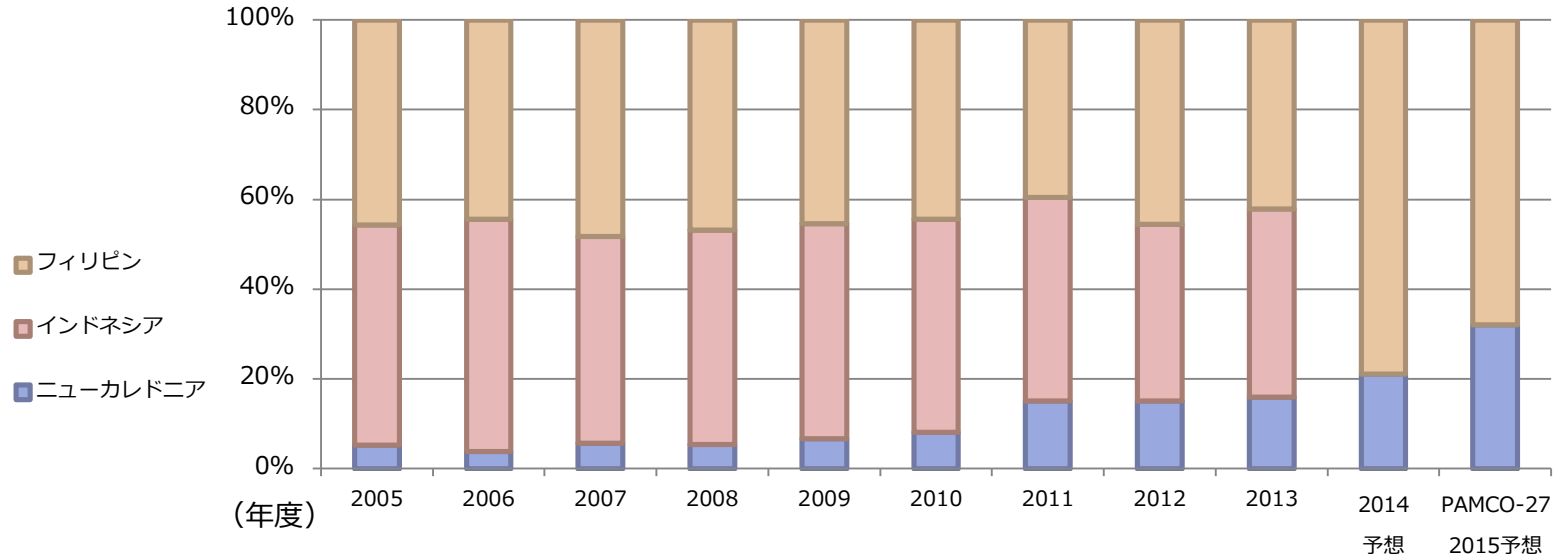
③ 品位低下

- ・ 調整剤等による調整
- ・ ウェダベイプロジェクトへの投資

ウェダベイプロジェクトの進捗
(22ページ)

3. 鉱石調達割合および調達契約概要

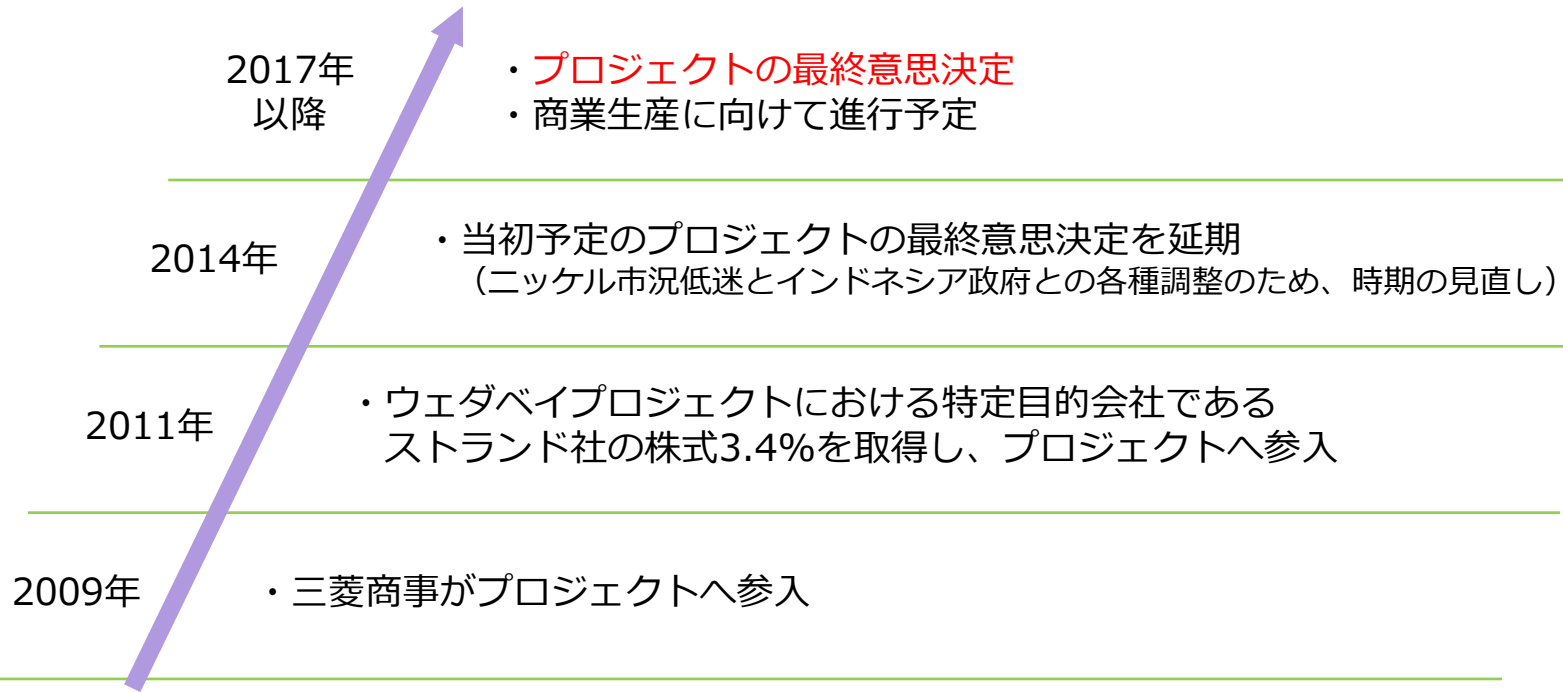
鉱石購入先割合の推移



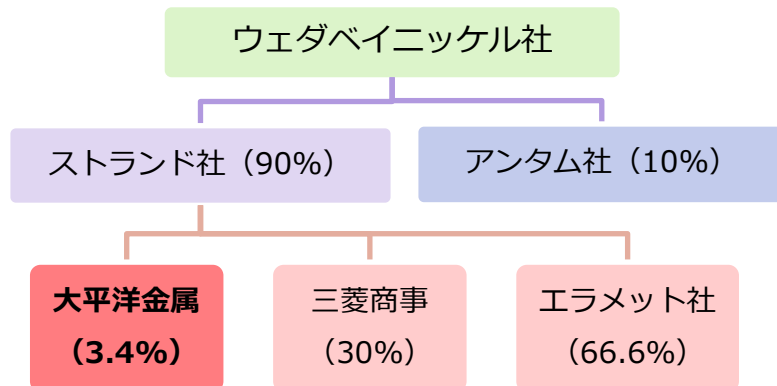
長期購入契約状況

購入先	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期	16年 3月期	17年 3月期	18年 3月期
<フィリピン> リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	11年1月～15年12月 (5年間)					更新予定		
<フィリピン> タガニート社(33.5%出資)	11年1月～15年12月 (5年間)					更新予定		
<フィリピン> カグジャナオ社	11年1月～15年12月 (5年間)					更新予定		
<インドネシア> アンタム社	07年6月～14年5月 (7年間)				14年1月 インドネシア新鉱業法施行			
<ニューカレドニア> モンタニア社	06年4月～16年3月 (10年間)						更新予定	
<ニューカレドニア> MKM社					14年1月～23年12月 (10年間)			

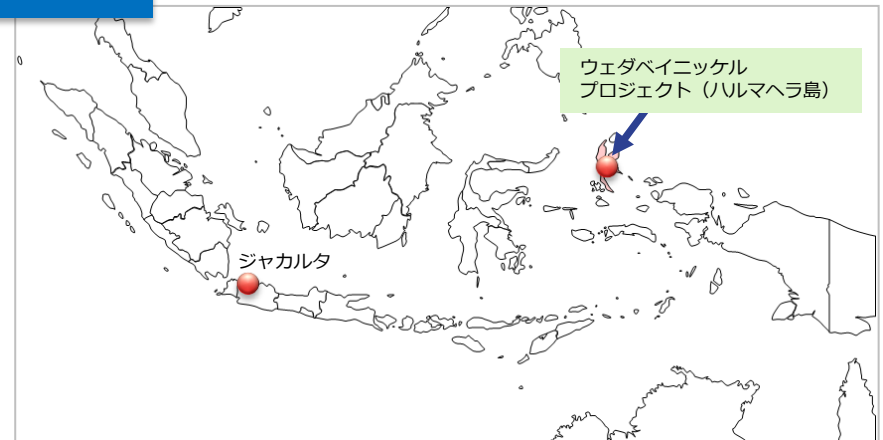
4. ウェダベイニッケルプロジェクトの進捗



出資状況



位置図



大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します